

IV 保健予防課

1 感染症対策

感染症法に基づく発生届の受理時や集団発生時に、積極的疫学調査や保健指導を実施し、感染症のまん延防止に努めました。

新型コロナウイルス感染症について、医療との連携、陽性者支援、蔓延防止のための検査体制の整備、接触者調査、保健指導等の対応に迅速・適切に対応できるように努めました。

2 結核予防対策

感染症法に基づき、結核患者及びその家族等に対する保健指導を行うとともに、医療機関、薬局等と連携して、患者が治療を完遂できるよう服薬支援を実施しました。

また、患者家族等の接触者に対し、健康診断を実施し、結核の早期発見・まん延防止に努めました。

3 エイズ予防・性感染症予防対策

エイズ相談検査を実施するとともに、青少年を対象にエイズ・性感染症の正しい知識を普及するための講演会、パンフレットの配布等の予防啓発事業を実施しました。

4 難病対策

難病患者への医療援護事務を行うとともに、医療依存度の高い神経難病等患者及び介護者の療養支援を目的とする在宅難病患者緊急一時入院の利用にあたって、申請受付を行うとともに療養相談を行いました。

5 肝疾患対策

B型ウイルス性肝炎に対して行われるインターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療やC型ウイルス性肝炎の根治を目的としたインターフェロン治療及びインターフェロンフリー治療の実施に対する医療援護事務を行いました。

6 原爆被爆者援護

原爆被爆者及び被爆者のこどもを対象に、健康手帳等の申請等に係わる経由事務及び健康診断を実施しました。

7 骨髄ドナー登録

白血病等の血液難病患者にとって有効な治療法である骨髄移植を推進するため、登録受付を行いました。

8 認知症疾患対策

認知症疾患相談事業として、専門医・保健師等による相談・訪問指導を実施し、適切な診断・治療を受けるための指導、療養生活支援、家族に対する保健指導を行いました。

9 精神保健福祉対策

精神疾患の早期発見・早期治療を図るため、専門医・福祉職・保健師による相談・訪問を行いました。また、関係機関との連携を図るため、会議の開催や他機関主催のケア会議等への出席を行いました。

「措置入院者の退院後支援」と「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」の二つを大きな柱として、業務を行いました。措置入院者には、できるだけ入院中に本人に面接し退院後支援の説明をし、退院後の医療や生活の支援を継続できるよう心掛けました。

第3章 業務概況

地域包括ケアシステムの構築の一つとして、この地域で進められてきた長期入院患者の地域移行・地域定着について、長期任意入院者患者調査を行いました。退院の検討が可能なケースは、病院に出向きヒアリングを行いました。それらの結果を病院や行政等と共有・協議しました。

1 感染症対策

(1) 感染症発生状況

	発生件数	患者数	無症状病原体保有者数	接触者検便延数	備考
総数	592	15	-	2	
1類感染症					
2類感染症					
3類感染症	1	1		2	腸管出血性大腸菌感染症
4類感染症	3	1 2			つつが虫病 レジオネラ症
5類感染症	11	1 5 3 1 1			アメーバ赤痢 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 急性脳炎 侵襲性インフルエンザ菌感染症 水痘（入院例）
指定感染症	577	-	-		新型コロナウイルス感染症

※2類感染症は結核を除く数

※5類感染症は全数把握のみ

(2) 感染症診査協議会感染症部会

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく入院勧告の診査等のため、必要に応じ開催しました。

ア 開催状況

開催回数 63回

イ 診査の状況

区分	診査件数	入院勧告	入院延長	就業制限
法第20条	155	146	9	
法第18条 *	0			

*診査分その他、報告 835 件あり（足柄上センター分を含む）。

第3章 業務概況

(3) 通報等に伴う調査

	通 報 件 数	調 査 者 数	患 者 ・ 保 菌 者 数	行 政 検 便 延 件 数
総 数	0	0	0	0
検疫所からの通報				
県域外等からの通報	0	0		

(4) 集団かぜによる学級閉鎖・学年閉鎖状況

	令 和 2 年 度			令 和 元 年 度		
	施設数(実)	施設数(延)	欠 席 者 数	施設数(実)	施設数(延)	欠 席 者 数
総 数	0	0	0	9	9	89
幼 稚 園						
小 学 校				7	7	72
中 学 校						
高等学校				2	2	17
特別支援学校						

(5) 社会福祉施設等における感染症報告に伴う報告・相談状況

疾患名	施設種別	件数
インフルエンザ	高齢者施設	0
	障害者施設	0
	児童関係施設	0
感染性胃腸炎		0
計		0

第3章 業務概況

(6) 感染症対策連絡会議

令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、実施しませんでした。

(7) 蚊の生息調査

令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、実施しませんでした。

(8) 感染症研修会

開催日	対象	テーマ	講師	会場	参加者数
R2. 7. 6	訪問看護及び福祉施設等の従事者	訪問看護及び福祉施設等の従事者向け新型コロナウイルス感染症対策研修会	医療安全・災害医療対策課 感染管理認定看護師	小田原合同庁舎	27
R2. 8. 26 9. 8 9. 10 11. 10	看護学生等	感染症について	当所 医師 保健師	小田原合同庁舎	6
R2. 9. 4	看護学生実習合同オリエンテーション	感染症について	当所 保健師	小田原合同庁舎	58
R2. 9. 29 9. 30	当所職員	防護服の着脱訓練	当所 保健師	小田原合同庁舎	20

第3章 業務概況

(9) 個別保健指導

方法	訪問	面接	電話	文書・メール	計
件数	105	42	12,725	303	13,175

(新型コロナ感染症関係)

相談件数	PCR検査数
13,126	11,542

陽性者数	(再掲) 自宅療養	(再掲) 宿泊療養	(再掲) 入院	(別掲) 通報
577	325	126	126	53

濃厚接触者	接触者調査(送受)	施設調査	検疫等メール
1,075	490	92	303

(10) 手洗いチェッカーの貸出

事業所区分	介護保険事業所	その他
件数	4	1

第3章 業務概況

2 結核予防対策

(1) 感染症診査協議会結核部会

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく入院勧告の診査等のため、定例的（第2・4水曜日）に開催するとともに必要に応じ臨時開催しました。

ア 開催状況

	定例開催	臨時開催	計
開催回数	24	9	33

イ 診査の状況

区分	診査件数	入院勧告	入院延長	就業制限	公費負担承認	公費負担不承認	公費負担保留
法第20条	29	11	18				
法第18条 *	0						
法第37条の2	44				44		

*診査分その他、報告9件あり（足柄上センター分を含む）。

(2) 結核患者の状況

ア 登録患者数

(ア) 受療別・市町別登録患者数

（令和2年12月31日現在）

		総数	活動性結核			肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症（別掲）
			肺結核活動性						
			登録時喀痰塗抹陽性	登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他				
総数		64	7	2	2	1	37	15	27
受療別	入院	4	3	1					
	在宅医療	7	4		2	1			5
	経過観察	53		1			37	15	21
	不明	0							1
市町別	小田原市	51	4	2	2	1	31	11	20
	箱根町	3					2	1	2
	真鶴町	1					1		3
	湯河原町	9	3				3	3	2

第3章 業務概況

(イ) 年齢階級別登録患者数

(令和2年12月31日現在)

	総数	活動性結核				肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症(別掲)
		肺結核活動性			登録時菌陰性その他				
		登録時喀痰塗抹陽性	登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他					
総数	64	7	2	2	1	37	15	27	
0～4歳	0								
5～9歳	0								
10～14歳	0								
15～19歳	0								
20～29歳	7	1	1	1		3	1		
30～39歳	4		1			1	2	2	
40～49歳	1						1	1	
50～59歳	7					6	1	6	
60～69歳	5					4	1	5	
70～79歳	15	1				12	2	5	
80歳以上	25	5		1	1	11	7	8	

(ウ) 新登録患者数

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

	総数	活動性結核				肺外結核活動性	潜在性結核感染症(別掲)
		肺結核活動性			登録時菌陰性その他		
		登録時喀痰塗抹陽性	登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他			
総数	17	8	4	4	1	8	
0～4歳	0					1	
5～9歳	0						
10～14歳	0						
15～19歳	0						
20～29歳	2	1		1			
30～39歳	1		1			1	
40～49歳	1			1			
50～59歳	0					2	
60～69歳	1	1				2	
70～79歳	4	1	2	1		1	
80歳以上	8	5	1	1	1	1	

第3章 業務概況

(エ) 結核患者登録率の推移（人口10万対）

	神奈川県		管内	
	登録数	登録率	登録数	登録率
平成28年	3,213	35.1	79	33.4
平成29年	3,028	33.1	77	32.7
平成30年	2,774	30.2	84	36.0
令和元年	2,546	27.6	66	28.5
令和2年	—	—	64	27.8

(オ) 結核り患率の推移（人口10万対）

	神奈川県		管内	
	新登録数	り患率	新登録数	り患率
平成28年	1,192	13.0	40	16.9
平成29年	1,143	12.5	27	11.5
平成30年	1,024	11.2	33	14.1
令和元年	987	10.7	24	10.3
令和2年	—	—	17	7.3

(カ) 結核有病率（人口10万対）

	神奈川県		管内	
	活動性結核	有病率	活動性結核	有病率
平成28年	785	8.6	30	12.7
平成29年	734	8.0	14	6.0
平成30年	690	7.5	23	9.8
令和元年	637	6.9	8	3.4
令和2年	—	—	12	5.2

(3) 健康診断

結核感染の早期発見を目的として、接触者健診を行いました。

また、結核患者登録票を基に、必要な者に対し管理検診を実施しました。

		実人数	QFT・LAMP 検査（延べ）		エックス線直接 撮影（延べ）		ツベルクリン 反応（延べ）		結果		
			当所	医療 機関	当所	医療 機関	当所	医療 機関	患者 発見	潜在性結 核感染症	要経過 観察
			接触者 健診	家族	27	29	5		1	2	
	その他	46	59	4		2	2	1	1		
	管理検診	0									

第3章 業務概況

(4) 保健指導

ア 実施状況

適切な医療の確保、医療中断の防止、患者の内服支援、家族・接触者に対する感染予防、発病予防等の保健指導を実施しました。

訪問		所内指導（延べ）			
実人数	延べ人数	電話	面接	文書	計
73	252	1,562	141	7	1,710

イ 保健所DOTS実施状況（対象 64名）

	訪問	面接	電話	薬局
実人数	17	11	11	2
延べ人数	55	47	26	9

※電話での内服確認は、他疾患入院中等の患者に対して実施しました。

ウ 薬局DOTS実施状況

公益社団法人小田原薬剤師会と協力し、薬局において患者の内服支援を実施しました。

(ア) 登録薬局数

	令和2年度	令和元年度
登録薬局数	40	40

(イ) 薬局DOTS実施者数

	令和2年度	令和元年度
実施者数	2	6

(5) 研修

ア 結核医療従事者研修

令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、実施しませんでした。

イ 施設等での普及啓発活動

対象	内容	回数	参加者数
県民	ポスター等による 結核の知識、情報提供	1	—
地域包括支援センター	パンフレット等による 結核の知識、情報提供	1	27

3 エイズ予防・性感染症予防対策

(1) エイズ相談・検査

ア エイズ相談・検査実施状況

医師・保健師による随時相談、検査は月1回水曜日に匿名、予約制で実施しました。

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度
相談件数	392	442	323	329	255	160	172	221	143	158
検査実施数	108	115	80	83	69	52	56	101	98	82

イ エイズ検査（性・年齢別）実施状況

	0～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	合計
総数	3	22	22	25	5	5	82
男	2	18	16	24	4	5	69
女	1	4	6	1	1	0	13

(2) エイズ予防啓発事業

開催日	内容	会場	参加者数
R2. 9. 4	看護学生へ 予防啓発パンフレットの配布	小田原合同庁舎	56
R2. 12. 1～12. 11 (世界エイズデー)	予防啓発物品・パンフレット等の配架	小田原合同庁舎	103
R3. 3. 15, 18	エイズ・性感染症予防講演会 ・性感染症とは ・悩みを話せる人はいますか？ ～ともに生きる～	小田原東高校 ※映像のみ	427

第3章 業務概況

4 難病対策

(1) 特定医療費（指定難病）医療受給者証交付件数

平成26年12月31日までは56疾患の難病に対して助成を実施していましたが、平成27年1月1日より「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行され、現在333疾患が指定されています。

指定難病医療受給者証交付件数（令和3年3月31日現在）※管内に患者がいる疾患のみ掲載

告示番号	指定難病名	小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町	計	告示番号	指定難病名	小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町	計
1	球脊髄性筋萎縮症	4	1	0	1	6	68	黄色靱帯骨化症	7	2	0	1	10
2	筋萎縮性側索硬化症	21	0	0	1	22	69	後縦靱帯骨化症	56	5	1	7	69
3	脊髄性筋萎縮症	2	1	0	1	4	70	広範脊柱管狭窄症	2	0	0	3	5
4	原発性側索硬化症	0	1	0	0	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	43	5	0	2	50
5	進行性核上性麻痺	13	0	0	0	13	72	下垂体性ADH分泌異常症	5	0	0	1	6
6	パーキンソン病	210	16	8	34	268	74	下垂体性PRL分泌亢進症	3	0	0	0	3
7	大脳皮質基底核変性症	4	0	0	2	6	75	クッシング病	1	0	0	0	1
8	ハンチントン病	0	0	0	1	1	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	4	1	1	1	7
11	重症筋無力症	32	0	0	5	37	78	下垂体前葉機能低下症	18	1	0	4	23
13	多発性硬化症／視神経髄膜炎	27	2	2	9	40	83	アジソン病	2	0	0	0	2
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多 異性運動ニューロパチー	6	0	1	2	9	84	サルコイドーシス	8	0	2	3	13
15	封入体筋炎	2	0	0	0	2	85	特発性間質性肺炎	26	2	2	6	36
16	クロー・深瀬症候群	1	0	0	0	1	86	肺動脈性肺高血圧症	4	0	0	1	5
17	多系統萎縮症	18	0	0	2	20	88	慢性血栓性肺高血圧症	10	0	0	1	11
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	41	4	1	4	50	89	リンパ管筋腫症	1	0	0	0	1
19	ライソゾーム病	3	1	0	0	4	90	網膜色素変性症	42	2	1	6	51
21	ミトコンドリア病	4	0	0	2	6	96	原発性胆汁性胆管炎	9	2	0	4	15
22	もやもや病	20	3	0	3	26	94	原発性硬化性胆管炎	1	0	0	0	1
23	プリオン病	1	0	0	0	1	95	自己免疫性肝炎	4	0	0	2	6
24	亜急性硬化性全脳炎	1	0	0	0	1	96	クローン病	86	3	0	7	96
26	HTLV-1関連脊髄症	1	0	0	0	1	97	潰瘍性大腸炎	204	12	5	20	241
28	全身性アミロイドーシス	6	0	0	0	6	107	好酸球性消化管疾患	2	0	0	0	2
30	遠位型ミオパチー	1	0	0	0	1	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	1	0	0	0	1
34	神経線維腫症	6	0	0	0	6	111	先天性ミオパチー	1	0	0	0	1
35	天疱瘡	5	0	0	1	6	113	筋ジストロフィー	17	3	0	1	21
37	膿疱性乾癬(汎発型)	2	0	0	0	2	117	脊髄髄膜瘤	1	0	0	0	1
40	高安静脈炎	4	0	0	0	4	127	前頭側頭葉変性症	1	1	0	0	2
41	巨細胞性動脈炎	2	0	0	0	2	148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	1	0	0	0	1
42	結節性多発動脈炎	1	0	2	0	3	157	スタージ・ウェーバー症候群	1	0	0	0	1
43	顕微鏡的多発血管炎	11	2	2	0	15	158	結節性硬化症	1	0	0	0	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	6	0	0	0	6	160	先天性魚鱗癬	0	2	0	0	2
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	5	0	0	0	5	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	4	0	0	1	5
46	悪性関節リウマチ	4	0	0	0	4	181	クルーゾン症候群	1	0	0	0	1
47	バージャー病	1	0	0	0	1	220	急速進行性糸球体腎炎	1	0	0	1	2
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	0	0	1	4	222	一次性ネフローゼ症候群	10	1	1	3	15
49	全身性エリテマトーデス	101	5	3	7	116	224	紫斑病性腎炎	2	0	1	0	3
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	40	3	2	3	48	225	先天性腎性尿崩症	0	0	0	1	1
51	全身性強皮症	31	2	0	8	41	230	肺胞低換気症候群	1	0	0	0	1
52	混合性結合組織病	13	0	2	0	15	238	ビタミンD抵抗性くる病／骨軟化症	1	0	0	0	1
53	シェーグレン症候群	7	0	2	4	13	257	肝型糖尿病	1	0	0	0	1
54	成人スチル病	4	1	0	0	5	266	家族性地中海熱	2	0	0	0	2
56	ベーチェット病	17	1	2	4	24	271	強直性脊椎炎	8	1	0	1	10
57	特発性拡張型心筋症	28	1	2	3	34	283	後天性赤芽球病	2	0	0	1	3
58	肥大型心筋症	1	1	0	0	2	298	遺伝性聾炎	0	0	0	1	1
60	再生不良性貧血	11	0	2	0	13	300	IgG4関連疾患	6	2	2	1	11
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2	0	0	0	2	302	レーベル遺伝性視神経症	1	0	0	0	1
36	特発性血小板減少性紫斑病	21	5	2	0	28	306	好酸球性副鼻腔炎	12	0	0	0	12
66	IgA腎症	14	1	3	7	25							
67	多発性嚢胞腎	19	2	1	2	24							
								総計	1,391	98	53	187	1,729

第3章 業務概況

(2) 難病対策地域協議会

令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、実施しませんでした。

(3) 難病患者地域支援ネットワーク事業

難病患者及びその家族を対象に、療養上の不安の解消を図るため、相談指導等を実施しました。

ア 難病講演会

イ 患者家族のつどい

ウ リハビリ教室 (対象 パーキンソン病関連疾患)

} 令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止のため実施しませんでした。

エ 訪問相談事業

訪問相談員（保健師、看護師）が、患者・家族の療養上の悩み等に対して支援を行いました。

実施回数	訪問		面接		電話	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
5	3	5	0	0	1	1

オ 保健師による家庭訪問・所内指導

家庭訪問

	神経系	膠原病	消化器系	血液系	免疫系	総数
実人数	12	1				13
延人数	14	1				15

随時相談

面接	電話	その他	総数	主な相談内容（延べ）					
				申請	医療	看護	福祉	その他	計
8	93	0	101	8	15	48	9	21	101

(4) 難病特別対策推進事業

ア 在宅神経難病患者緊急一時入院（平成17年4月より開始）

2次医療圏に2床、県域で8床、西湘地域では、箱根病院、足柄上病院に1床ずつ確保されています。医療依存度の高い神経難病患者等の介護者のレスパイトや介護困難時の一時入院受け入れに伴う申請受付と療養相談を行いました。

<利用者の状況> 回数 1件（実人数 1名） 申請数 1件

イ 在宅難病患者保健福祉従事者等研修会

令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、実施しませんでした。

5 肝疾患対策

肝疾患医療給付申請者に対し申請事務を行うとともに、定例相談、検査日を設けました。

(1) ウイルス性肝炎相談及びC型肝炎・B型肝炎ウイルス検査実施状況

定例相談				受診券発行
実施回数	検査人数	検査内容		
		HCV抗体	HBs抗原	
0	0	0	0	0

(2) 肝炎治療医療費助成制度

平成20年4月からインターフェロン治療に対する医療費助成制度が開始され、B型肝炎の治療として平成22年4月から核酸アナログ製剤治療が助成の対象となりました。また、C型肝炎の治療として平成24年1月からインターフェロン及び内服薬による3剤併用療法が、更に平成26年9月からインターフェロンフリー治療が医療費助成の対象となりました。

区分	申請者数	
インターフェロン治療	0	
核酸アナログ製剤治療	新規	6
	更新	24
インターフェロンフリー治療	30	
3剤併用療法	0	

6 原爆被爆者援護

(1) 原爆被爆者健康管理事業

ア 被爆者健康手帳等交付状況

	R2.3月末現在 手帳保有者	新規申請
総数	117	2
被爆者健康手帳	44	
第1種健康診断受診者証		
第2種健康診断受診者証		
被爆者のこども受診者証	73	2

第3章 業務概況

イ 被爆者健康診断実施状況

		受診者			要精検者	要治療
		総数	被爆者	第1・2種 被爆者の こども		
令和元年度		10	7	3	5	
令和2年度	総数	5	3	2	2	
	第1回 5月	2	2		2	
	第2回 11月	3	1	2	0	

7 骨髄ドナー登録

白血病、重症再生不良性貧血等の患者にとって有効な治療法である骨髄移植を推進するため、骨髄移植推進財団を中心に骨髄バンク事業が実施されていますが、平成7年度から骨髄提供希望者のより一層の確保を図るため、県域では、小田原保健福祉事務所、厚木保健福祉事務所大和センターの2か所が登録受付業務を実施しています。

(1) 小田原保健福祉事務所登録受付の状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総数	2	1	1
男	1		1
女	1	1	

(参考) 骨髄バンクの状況

	全 国	神奈川県
提供希望者（ドナー）登録者数	533,938	26,207
移植希望者登録者数	1,282	71
骨髄移植例数（累計）	25,443	1,326

※骨髄移植推進財団日本骨髄バンク 骨髄バンクデータ集資料より 令和3年7月末日現在

8 認知症疾患対策

(1) 認知症疾患相談事業

認知症疾患対策、相談事業、訪問指導事業、処遇困難事例の検討会や徘徊高齢者SOSネットワークシステム等の事業を実施しました。

ア 定例相談

本人、家族、地域包括支援センター職員等からの相談に専門医、保健師が応じています。

相談 件数 (実数)	相談 件数 (延べ数)	相談の方法 (延べ数)			相談内容 (延べ数)				
		訪問	面接	その他	疾 病 一 般	問 題 行 動	治 療	入 院	看 護 介 護
9	9	6	3	0	7	9	0	0	0
					介 護 者 の 問 題	介 護 保 険 サービス	そ の 他 の 制 度	介 護 者 の 支 援	そ の 他
					0	0	0	0	0

イ 随時相談

相談 件数 (実数)	相談 件数 (延べ数)	相談の方法 (延べ数)			相談内容 (延べ数)				
		電話	面接	その他	疾 病 一 般	問 題 行 動	治 療	入 院	看 護 介 護
20	51	43	6	2	22	18	1	0	0
					介 護 者 の 問 題	介 護 保 険 サービス	そ の 他 の 制 度	介 護 者 の 支 援	そ の 他
					0	0	2	1	22

(2) 認知症疾患訪問指導

	訪 問 数						年 齢 別 (実数)					
	男		女		総数		60 歳 未 満	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	総数
	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数						
件数	2	2	3	3	5	5	0	0	3	1	1	5

第3章 業務概況

(3) 処遇困難事例検討事業

一般住民や、地域で認知症患者に関わっている支援者が開催する事例検討会は新型コロナウイルス感染症防止のため、開催されませんでした。

ア 処遇困難事例検討

開催日	出席者	会場	参加者
R2. 11. 19	市高齢介護課、地域包括支援センター、駐在所 家族	小田原市役所	6

イ 認知症患者家族の交流会（おだわら・はこね家族会）

小田原市と箱根町が開催した家族交流会へ支援を行いました。

開催日	内 容	参加者数
R2. 8. 21	交流会 (Zoom)	20
R3. 2. 19	交流会 (Zoom)	10
R3. 3. 19	交流会 (Zoom)	11

ウ 認知症患者家族の交流会（ゆがわら・まなづる家族会）

令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、開催されませんでした。

エ 関係機関との連携

(ア) 小田原市初期集中支援事業チーム員会議との連携

回数	3回
検討件数 (相談含む)	21件

(イ) 認知症をにんちしよう会との連携

保健・医療・福祉の関係団体及び行政で構成された「認知症をにんちしよう会」に構成機関として参画し、活動しました。

開催日	内容	会場	参加者
R2. 6. 2	第1回実行委員会（書面会議）		
R2. 8. 24	第2回実行委員会	ZoomによるWeb会議	22名
R3 .3. 18	第3回実行委員会	ZoomによるWeb会議	26名

(4) 若年性認知症対策事業

「若年性認知症家族会」は、令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、開催しませんでした。

(5) 介護予防・認知症予防支援事業

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため実施しませんでした。

第3章 業務概況

(6) 徘徊SOSネットワーク事業

徘徊する方の安全を守るため、事前登録、搜索保護の窓口を担う市町及び県庁と連絡調整を行いました。

ア 市町別徘徊SOSネットワーク事前登録状況

事前登録数	小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町
163(38)	126(32)	10(3)	3(0)	24(3)

※()内は、R2年度新規登録数

イ ネットワーク実施状況

搜索依頼件数	発見者数(未発見者数)	保護件数	身元判明件数	他地域からの広域依頼件数
2	2(0)	0	0	44

ウ 認知症等行方不明SOSネットワーク担当者会議

令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、実施しませんでした。

(7) その他

ア 認知症疾患医療センターとの連携

認知症疾患医療センターである曾我病院との地域医療連携強化に努めました。

開催日	内 容
R2. 11. 27	第1回 県西地区認知症疾患医療連携協議会（書面開催）
R3. 2. 26	第2回 県西地区認知症疾患医療連携協議会（書面開催）
R3. 3. 22	地域版若年性認知症自立支援ネットワーク会議（書面開催）

イ 認知症担当者会議

令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、実施しませんでした。

9 精神保健福祉対策

精神障害者数が増加の一途をたどり、地域における精神保健福祉に対するニーズは年々高まる一方です。当所では精神疾患の早期発見、早期治療、再発防止、地域生活への支援に努めるとともに、精神障害者の社会復帰のための援助を行いました。

(1) 会議

保健福祉事務所管内における関係機関・団体等の連携により行われる各種保健・福祉サービスの効果的かつ円滑な推進を図るため、関係機関で構成する会議を開催しました。

ア 地域精神保健福祉連絡協議会

開催月	構 成 員	内 容	出席機関
R3. 2. 26	精神科医療機関 社会復帰関係機関 家族会 相談支援事業所 市町担当課 市町社会福祉協議会 ピアサポーター 精神保健福祉センター 保健福祉事務所	書面会議にて開催 ① 小田原保健福祉事務所 令和2年度 事業報告 ② 管内 8050問題関係機関調査報告 ③ 令和2年度 管内長期任意入院者患者調査報告	21

イ 地域精神保健連絡協議会 地域移行部会

開催日	構 成 員	内 容	出席者数
R2. 9. 2	精神科医療機関 相談支援事業所 市町担当課 ピアサポーター	① 令和2年度 地域移行部会実施計画について ② 令和2年度 精神科病院 長期任意入院者患者調査について ③ 個別支援ケースの状況について ④ 地域移行ワーキング ちらしについて ほか	17

(2) 精神保健福祉業務統計

精神保健福祉相談・訪問指導

ア 把握区分

	実人数	延べ人数
相 談	363 (266)	1, 781
訪 問	68 (2)	183

※ () 内は、保健所把握新ケース (内数)

第3章 業務概況

イ 相談性別・年齢

	性別			年齢								
	男	女	不明	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	不明
実人数	141	212	10	0	21	42	42	55	53	27	31	92
延人数	908	863	10	0	33	281	276	297	465	228	85	116

ウ 訪問性別・年齢

	性別			年齢								
	男	女	不明	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	不明
実人数	41	27	0	0	1	12	10	13	10	13	8	1
延人数	138	45	0	0	1	32	27	58	20	31	13	1

エ 相談・訪問契機

	実人数	市町村	医療機関	家族	本人	その他
相談	363	26	26	96	103	112
訪問	68	6	15	6	17	24

オ 相談種別

	延人数	治療の問題	生活上の問題	社会参加の問題	心の健康問題	その他
相談	1,781	853	784	62	46	36
訪問	183	95	75	9	4	0

カ 診断名

	実人数	統合失調症	気分(感情)障害	てんかん	器質性精神障害	中毒性精神障害		神経症	その他の精神障害	診断保留	精神障害と認めず	その他の(未受診・不明含む)
						アルコール	覚せい剤・他					
相談	363	81	45	0	3	10	2	13	22	15	1	171
訪問	68	35	3	0	0	0	1	3	3	2	1	20

第3章 業務概況

キ 相談者

	総数	本人	家族	医療機関	市町村	その他
相 談	1,958	677	341	296	169	475
訪 問	368	126	83	47	35	77

ク 担当者別相談回数

	総数	医師	福祉職	保健師	その他
相 談	1,840	41	1,772	10	17
訪 問	201	11	182	1	7

(3) 普及啓発

精神保健福祉講演会

令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、実施しませんでした。

(4) 家族支援

精神障害者（主に統合失調症）の家族教室

令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、実施しませんでした。

(5) 団体支援

精神保健福祉関係団体への支援

	援 助 内 容	援助回数
精 神 障 害 者 家 族 会	開催中止	0
断 酒 会 、 A A	情報共有、連携	18
地域活動支援センターⅢ型支援	地域ネットワーク会議参加	1

(6) 医療保護関係事務

ア 精神保健診察

精神保健福祉法に基づく一般からの申請(法22条)・警察官通報(法23条)に対し、精神保健福祉センター兼務職員として調査等を行いました。

	件 数	指 定 医 療 診 察 結 果				病院紹介	不実施	取下げ
		要措置	不 要 措 置					
			入 院	入院外	医療不要			
22条	0							
23条	36	18	2	4	1	0	11	0

(注) 22条申請の結果は、公表していない

イ 精神科病院実地指導・実地審査(法38条の6)

(ア) 精神保健福祉法に基づく精神科病院に対する実地指導

精神科病院におけるより良い医療の提供と適正な管理運営に資するため、管内2病院に対し、実地に実態を把握し、必要な指導を行いました。

第3章 業務概況

(イ) 精神保健福祉法に基づく実地審査（措置入院者等に対する精神保健指定医の診察）

施設数	審査結果					
	措置入院			医療保護入院		
	継続	移行	入院不要	継続	移行	入院不要
2			1	3		

ウ その他の医療保護事務

	延べ件数
入院届	415
応急入院届	0
退院届	412
定期病状報告	221
措置定期病状報告	0

(7) 自殺対策事業

- ア 自殺予防週間のある9月に、小田原合同庁舎にて自殺予防の普及啓発展示を行いました。
- イ 地域自殺対策担当者会議は、令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、実施しませんでした。

(8) 調査・研究

- ア 令和2年度 管内長期任意入院者患者調査

実施月	内 容	調査数（総計）	対 象
R2. 11	長期任意入院者のうち、管内に住所地がある患者について書面で調査し、退院・地域移行が可能な患者がどのくらいいるか、調査した。調査の結果、退院への検討が可能なケースについては、病院で個別ヒアリングを行った。	137人	曾我病院、国府津病院、北小田原病院

- イ 管内「8050問題」 関係機関調査

実施月	内 容	調査数	対 象
R2. 8	全国的な問題である「8050問題」は、当管内でも地域の課題である。管内の実態を把握するため関係機関に調査を依頼、地域の実態を調査し、それに伴い課題や今後必要な支援について抽出した。	34機関	行政、社協、地域包括支援センター等

第3章 業務概況

(9) 市町の事業への協力

- ア 小田原市箱根町真鶴町湯河原町地域障害者自立支援協議会 精神部会に参加
精神障害者の地域生活定着を支援するため、H30.4小田原市箱根町真鶴町湯河原町地域障害者自立支援協議会精神部会が発足し、構成員として参加しました。部会の中のワーキンググループにも参加しました。

開催日	内 容
R2.7.27他 計2回	小田原市箱根町真鶴町湯河原町地域障害者自立支援協議会 精神障害者地域生活支援部会
R2.8.26他 計2回	小田原市箱根町真鶴町湯河原町地域障害者自立支援協議会 精神障害者地域生活支援部会 ワーキンググループ (連携グループ)

- イ 小田原市地域交流事業(ハートフェスタ)への協力
小田原市内の保健・医療・福祉の関係団体と行政から構成され、小田原市が事務局となっている小田原市地域交流事業に構成機関として参加しました。

内容	日時・回数	会場
地域交流事業実行委員会	R2.7.16 他計2回	小田原市役所
おだわらハートフェスタ	中止	
市役所普及啓発展示	中止	